

ベストチャレンジ賞

中原 ひとみ (UpSoil)

テーマ：アーバンガーデニング大国、日本をつくる。
大分から届ける、世界初サーキュラーエコノミー培養土の循環経済

【事業主の概要】

- ・所在地：大分市
- ・代表者：中原 ひとみ

【プラン概要】

都市型の生活環境の人に向け、リサイクル済み培養土の購入と使用済み培養土の返却を行う会員制サブスクサービスやイベントの開催を通じて、「培養土を所有しない」という新しい発想の「サーキュラーエコノミー型の培養土リサイクルサービス」を行う。

○特徴

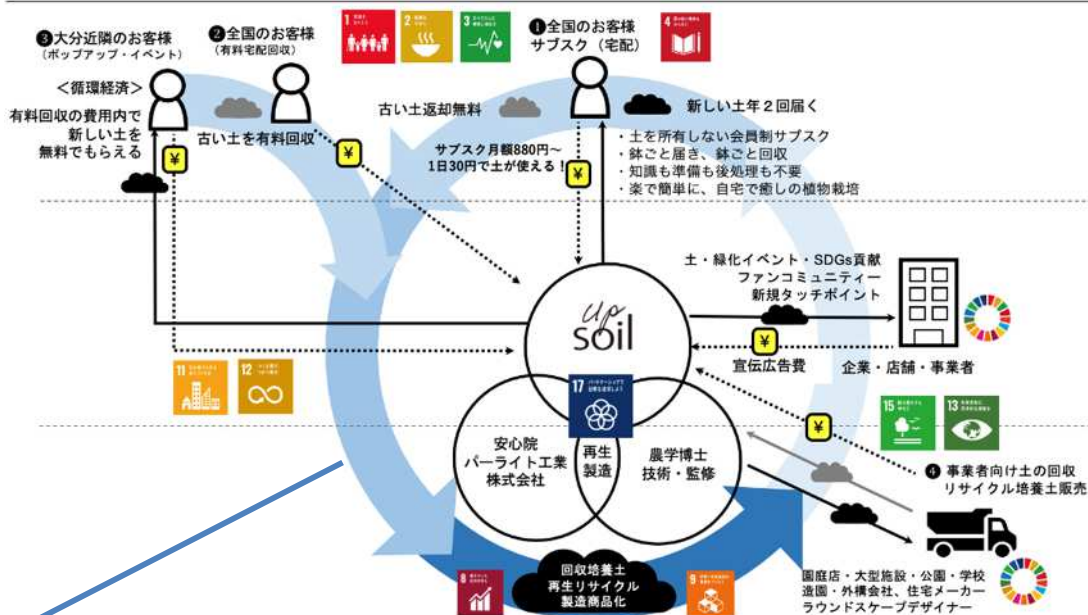
- ・製造の段階からリサイクルを前提として製品化する「サーキュラーエコノミー培養土」は全国初！

<リサイクルポリシー>

- ・新しい土の掘削に頼らない
- ・県内会社の資材（CO2を出さず輸入品不使用）
- ・菌床椎茸堆肥など、廃棄品や製造の副産物を活用し有機資材や肥料として使用

○事業概要

Up Soil 培養土のリサイクル率を100%に
サーキュラーエコノミーの培養土リサイクルサービス



<サーキュラーエコノミー商品>

従来の「廃棄」が最終視点の商品ではなく、
回収⇨リサイクル再生⇨商品化⇨使用⇨回収と、
永遠に循環する経済モデルをベースに
商品作りとサービス提供を行う。

<行政のゴミ回収に「土」を捨てられる日はない>
土は地球の自然物で「限りある資源」だが、
その処分・リサイクルは消費者任せになっている。
「土を所有しない」培養土のリサイクルサービスで
培養土のリサイクル率100%を目指す。

